



# 2020・2021年度の学費提起

RS学園通信2019・大学の学費提起に基づく学友会解説



立命館大学学友会

# 2020・2021年度の学費提起

## 大学の提起（RS学園通信）

### 2018年度全学協議会における議論

①入学定員管理の厳格化、②働き方改革、③2019～2022年度の協創施策（ラーニング・イノベーション）を通じた教学改革について、大学運営や財政に与える影響の重大性から、これらは議論を継続し、状況を踏まえて2020年以降の学費政策を検討するとした

### 継続課題とその検討状況

- ①入学定員管理について2019年度は「定員を原則」とすることとしたが、受験生の動向により、入学者数が定員を下回ったため、定員確保についても引き続き検討課題とする
- ②働き方改革は、2022年度実施をめどとした「立命館版働き方改革」の具体策を検討
- ③協創施策については、前半期は既存予算で取り組み、後半期は今年度に施策を具体化
  - 3課題は検討が進められたが、具体的な方策や財政規模を決定できる状況にない

# 2020・2021年度の学費提起

## 大学の提起（RS学園通信）

### 2020・2021年度学費政策

2019年度は、継続課題に関して具体策や財政規模を決定できず、学費政策の前提となる教学政策などについて、今後具体化を行う。2021年度全学協議会も視野に入れ、2019年度は教学政策・学費政策それぞれの検討を進める出発点とする。

- ▶ 以上の状況を踏まえ、2021年度までの学費政策では、基準授業料は据え置き、現行の授業料改定方式を継続

### 現行の授業料改定方式

$$\text{新年度授業料} = (\text{基準授業料}) \times (1 + \text{物価指数アップ率})$$

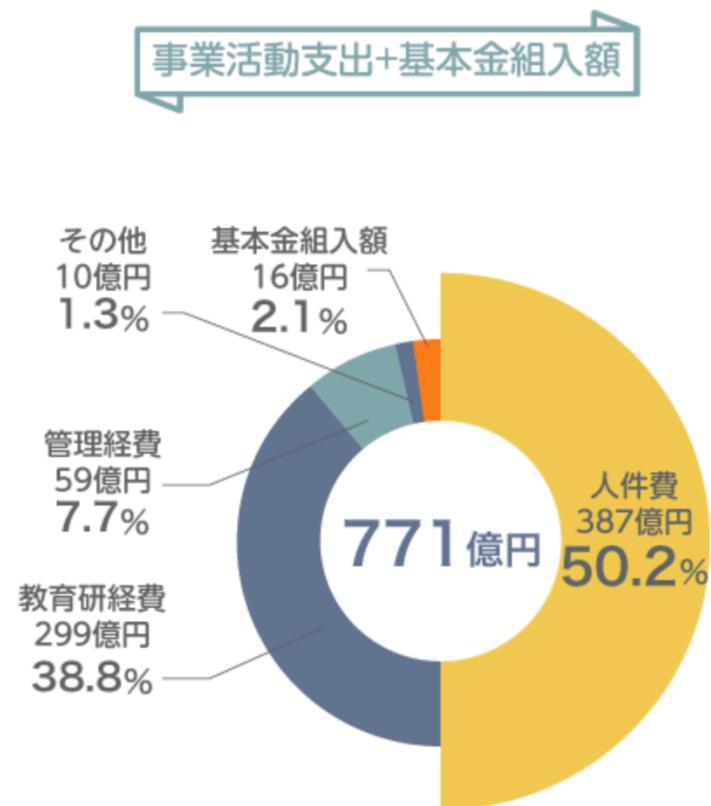
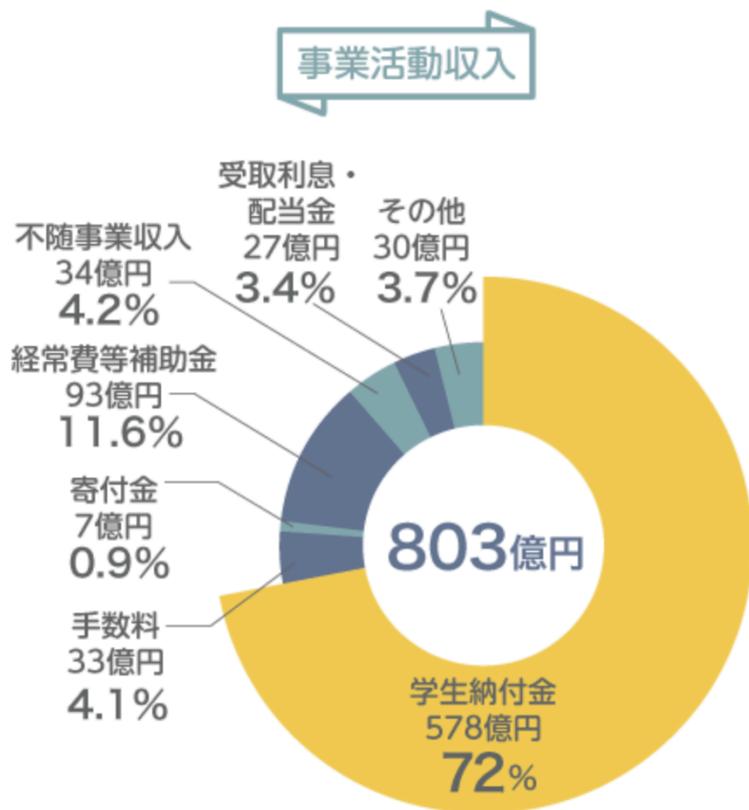
- ・「物価指数アップ率」は、消費者物価指数が1%以上の上昇時に適用。物価が下がる場合は考慮しない。
- ・物価指数が変化しない(1%未満の上昇含む)場合は、式には「0」と適用

# 2020・2021年度の学費提起

## 参考 | 学校法人立命館の財政

「立命館の財政運営の考え方」HPより  
[www.ritsumei.ac.jp/financialreport](http://www.ritsumei.ac.jp/financialreport)

- 2017年度事業活動収支 → 収入の約75%は学納金、支出の約50%は人件費



# 2020・2021年度の学費提起

## 参考 | 学校法人立命館の財政

- 2018年度 事業活動収支計算書
  - ▶ 事業収入・支出を、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に区分し、収支の均衡状態と学校法人の純資産の増減を明らかにするもの
  - ▶ 教育活動収支 | 収入774億円 / 支出759億円 (+15億円)
    - ✓ 教育・研究活動(いわゆる学校の本業)による収支
    - ✓ 学生生徒等納付金 = 学費
  - ▶ 教育活動外収支 | 収入28億円 / 支出1億円 (+26億円)
    - ✓ 教育・研究以外の、資産運用や借入利息などの財務支出

「学校法人立命館 2018年度事業活動報告書」より  
[www.ritsumeikan-trust.jp/publicinfo/about/report](http://www.ritsumeikan-trust.jp/publicinfo/about/report)

科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金	575	579	3
手数料	30	32	2
寄付金	9	6	△3
経常費等補助金	96	96	△0
付随事業収入	35	42	7
雑収入	17	20	3
収入 計	763	774	11
人件費	392	393	1
教育研究経費	327	305	△23
(減価償却額)	66	64	△2
管理経費	59	61	2
(減価償却額)	7	7	0
徴収不能額等	0	0	0
支出 計	778	759	△19
収支差額	△15	15	30
教育活動外収支			
受取利息・配当金	17	25	9
その他の教育活動外収入	0	3	3
収入 計	17	28	11
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	1	1
支出 計	0	1	1
収支差額	17	26	10
経常収支差額	1	41	40
特別収支			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	8	11	3
収入 計	8	11	3
資産処分差額	3	5	2
その他の特別支出	0	1	1
支出 計	3	6	3
収支差額	5	5	0
予備費	4	0	△4
基本金組入前当年度収支差額	2	47	44
基本金組入額	△41	△9	31
当年度収支差額	△38	37	75
前年度繰越収支差額	△191	△191	△0
基本金取崩額	0	0	△0
翌年度繰越収支差額	△229	△153	75
事業活動収入 計	788	813	25
事業活動支出 計	785	767	△19

# 2020・2021年度の学費提起

## 参考 | 学校法人立命館の財政

- 2018年度 事業活動収支計算書
  - ▶ 経常収支差額 | +41億円
    - ✓ 「教育活動収支」+「教育活動外収支」
    - ✓ 経営状態を示し、マイナスになると国からの補助は取消
  - ▶ 特別収支 | 収入11億円／支出6億円(+5億円)
    - ✓ 寄付金や資産売却益など
  - ▶ 当年度収支差額 | +37億円
    - ✓ 「教育活動収支」+「教育活動外収支」+「特別収支」  
-「基本金組入額」=37億円の収入超過

「学校法人立命館 2018年度事業活動報告書」より  
[www.ritsumeikan-trust.jp/publicinfo/about/report](http://www.ritsumeikan-trust.jp/publicinfo/about/report)

科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金	575	579	3
手数料	30	32	2
寄付金	9	6	△3
経常費等補助金	96	96	△0
付随事業収入	35	42	7
雑収入	17	20	3
収入 計	763	774	11
人件費	392	393	1
教育研究経費	327	305	△23
(減価償却額)	66	64	△2
管理経費	59	61	2
(減価償却額)	7	7	0
徴収不能額等	0	0	0
支出 計	778	759	△19
収支差額	△15	15	30
教育活動外収支			
受取利息・配当金	17	25	9
その他の教育活動外収入	0	3	3
収入 計	17	28	11
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	1	1
支出 計	0	1	1
収支差額	17	26	10
経常収支差額	1	41	40
特別収支			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	8	11	3
収入 計	8	11	3
資産処分差額	3	5	2
その他の特別支出	0	1	1
支出 計	3	6	3
収支差額	5	5	0
予備費	4	0	△4
基本金組入前当年度収支差額	2	47	44
基本金組入額	△41	△9	31
当年度収支差額	△38	37	75
前年度繰越収支差額	△191	△191	△0
基本金取崩額	0	0	△0
翌年度繰越収支差額	△229	△153	75
事業活動収入 計	788	813	25
事業活動支出 計	785	767	△19

# 2020・2021年度の学費提起

## 大学の提起（RS学園通信）

### 2020・2021年度学費政策

基準授業料は据え置いた上で、

- 他大学と比較して高い水準となっている入学金の引き下げを行う
  - ▶ 現行30万円→20万円に減額
- この見直しに伴う財政的な影響への対応などから、学部の1年次授業料に適応していた新入生特別減免を原則解消
  - ▶ 1年次授業料から16万円減免していたものを廃止（薬学部薬学科は21万円減免→5万円減免で継続）
- 2020年度の入学者の学費は、2018年度の消費者物価指数に基づくアップ率（1.4%）により、授業料改定方式（p3）に基づいた計算の結果、授業料が増額となる
  - ▶ 学部により異なるが、2回生以降の授業料が1.3万円～3.2万円増額

# 2020・2021年度の学費提起

## 大学の提起 (RS学園通信)

### 2020・2021年度学費政策

- 今回提起した学費政策は、入学手続者数を踏まえて、財政規模を維持することが前提
  - ▶ 見直しによる減収や、教学条件の悪化をさせないこと、増収を図るものではない
- 2019年度以前の入学者の授業料は、入学時のもので据え置き

### 2020・2021年度学費政策のまとめ

#### 入学金

30万円→20万円  
に減額

#### 新入生特別減免

1年次授業料に適用されていた  
16万円減免が廃止 (薬学科は除く)

#### 物価指数に基づく改定

消費者物価指数アップ率 (1.4%) に  
基づき、授業料が1.3～3.2万円増額

➡ 2020年度以降、4年間で平均約13万円 (薬学科は6年で約25万円) の学費実質値上げ